

PLUS

オーバーヘッドプロジェクタ CX-500

取扱説明書

お問合せ一覧

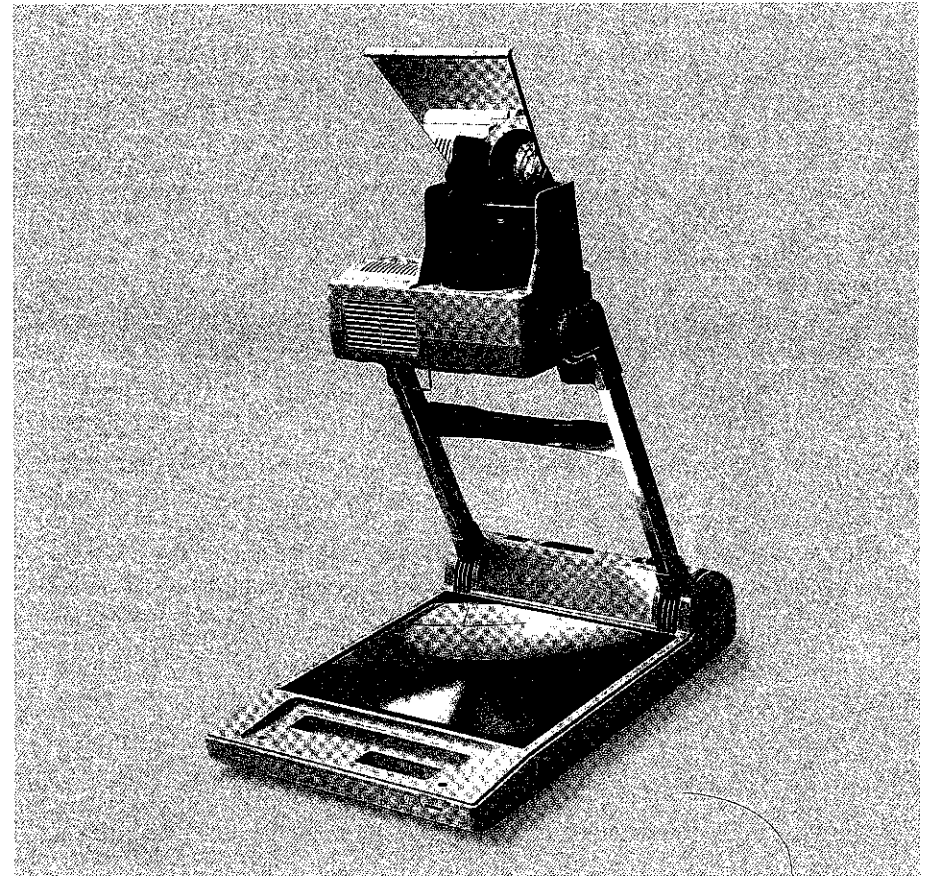
プラス株式会社 〒112-8654 東京都文京区音羽1-20-11

●商品の仕様に関するご質問は……

お問合せセンター ☎ 0120-331-059

札幌	011(731)1221	釧路	0154(37)5771	仙台	022(214)6611	盛岡	0196(38)8011
青森	0177(29)3111	秋田	0188(64)8311	山形	0236(33)5511	福島	0245(45)7676
宇都宮	0286(63)2331	前橋	0272(52)3411	水戸	0292(48)7433	新潟	025(285)7911
長野	0262(85)5111	東京	03(3942)3200	千葉	043(231)3321	甲府	0552(32)4882
八王子	0426(48)1800	大宮	048(686)3311	横浜	045(201)2121	厚木	0462(24)1511
静岡	054(237)1155	沼津	0559(76)2611	浜松	053(442)6366	名古屋	052(262)1271
金沢	0762(91)4511	四日市	0593(54)5550	富山	0764(36)2550	岐阜	058(248)1133
岡崎	0564(25)5681	大阪	06(532)1141	京都	075(371)2061	神戸	078(334)2051
加古川	0794(20)1678	広島	082(256)5001	岡山	086(276)7811	高松	0878(23)1191
山口	0839(32)2411	福岡	092(712)2101	熊本	096(385)5361	鹿児島	0992(85)7280
						沖縄	098(861)5523

移転等により、変更になる場合があります。



ごあいさつ

このたびは、ブラネ「オーバーヘッドプロジェクタ OX-500」をご購入いただき誠にありがとうございました。

製品の機能を充分にご活用いただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

なお、お読みになった後も必ず保管してください。

製品の梱包内容は次の通りです。ご使用前にご確認ください。

オーバーヘッドプロジェクタ本体(1台)
キャリングケース(1個)
ランプ(2個)
取扱説明書(1冊)(保証書含む)
マグネットバー
綿棒(1本)

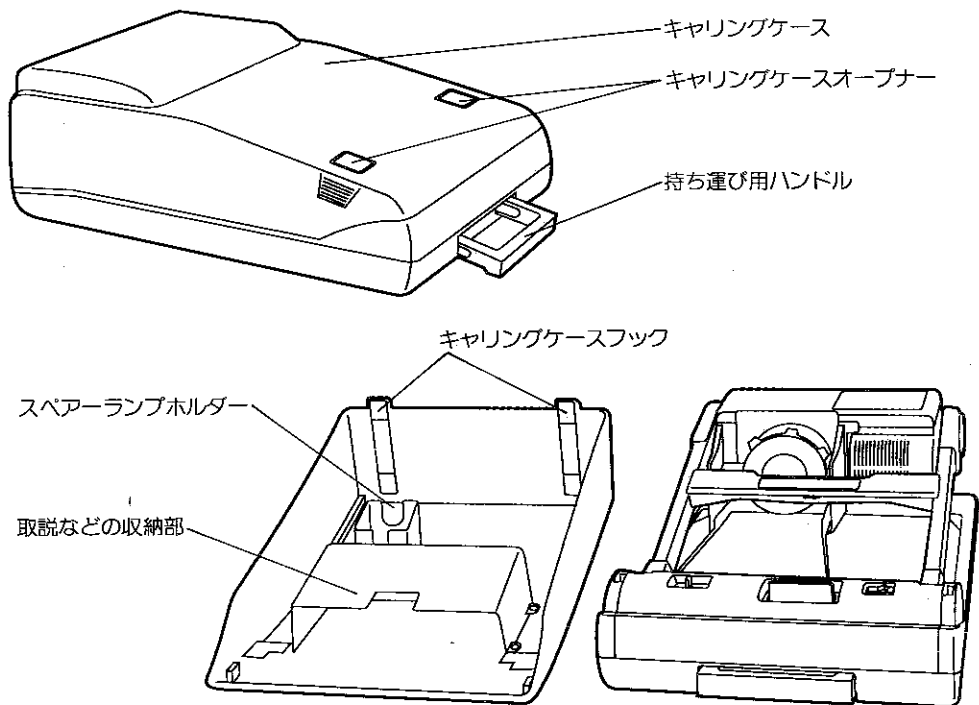
目次

1. 特長	2
2. 各部名称と機能	2
3. 映写の準備	4
4. 映写のしかた	6
5. 収納のしかた	8
6. 取扱い上の注意	11
7. ランプの交換方法	12
8. 簡単な故障の点検	14
9. 仕様	15
10. アフターサービスについて	16
11. お手入れ、保管方法	17
12. 記号の説明	17

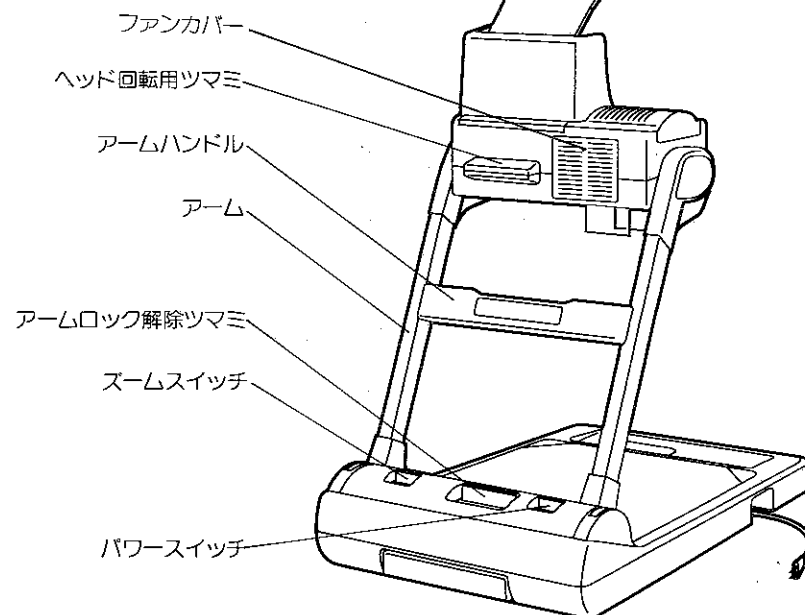
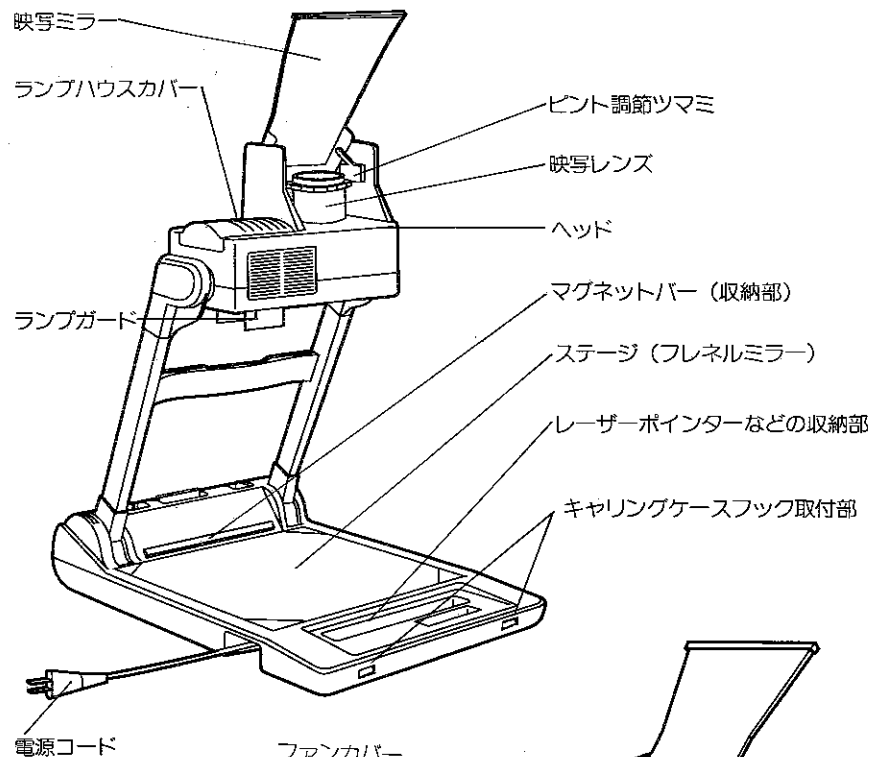
特長

- ①ポータブルタイプでは初の電動ズーム機能を備え、部分拡大がスイッチ操作で連続的にすばやく行えます。
- ②新開発ズームレンズにより、明るくシャープな映写画面が得られます。
- ③大型ステージの採用によりA4サイズの原稿がタテにもヨコにも映写できます。
(標準映写時)
- ④組み立て、収納操作、コード自動巻き取りなど映写準備は簡単です。
- ⑤コンパクトなポータブルタイプなので片手で持ち運びができます。

各部名称と機能



2

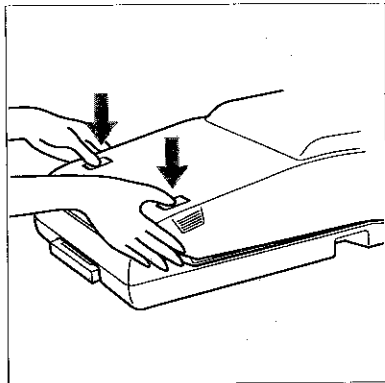


3

映写の準備

①キャリングケースを開きます。

両サイドのキャリングケースオープナーを押しケースを開きます。

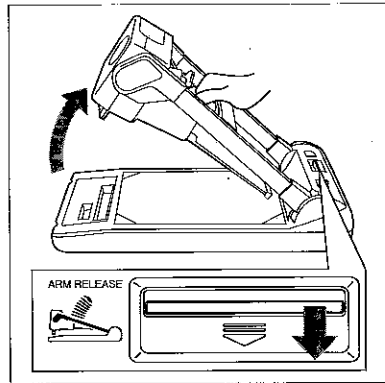


②アームを起こします。

アームロック解除ツマミを引き、ロックをはずしアームを起こします。

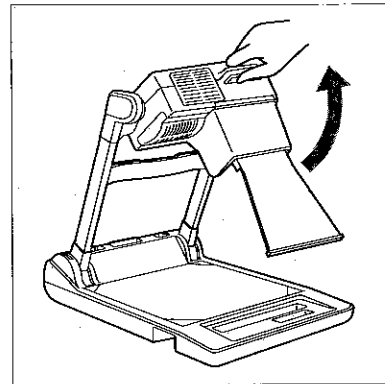
※アームを起こすときはアームハンドルを持って起こしてください。

※アームロック解除ツマミは本体がテーブルなどに設置されている状態以外では絶対に引かないでください。アームがとび出す場合があります。



③ヘッドを起こします。ヘッドを「TO OPERATE」方向へ回し、確実にロックされるまで起こします。

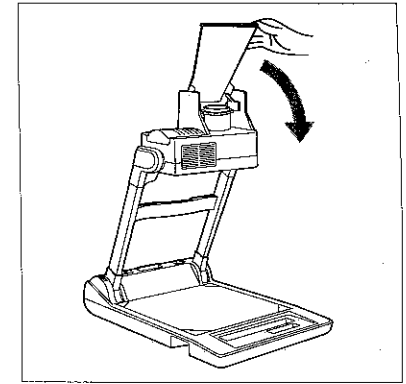
※ヘッドを起こすときは、ヘッド回転用ツマミを持って回してください。



④ミラーを倒します。

映写ミラーを45°ぐらいに倒します。

※映写ミラーに指が触れないようにご注意ください。指が触れると映写ミラーが汚れ、映写画面の鮮明さが失われます。



⑤電源コードをつなぎます。

電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントにつなぎます。コードは5mまで延ばせます。

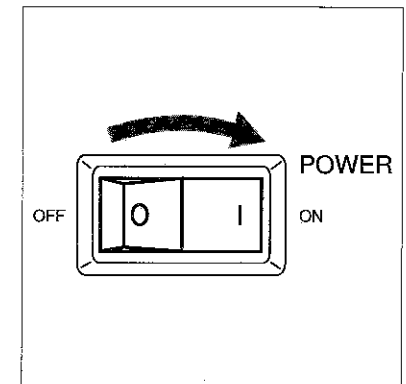
※コード根元の赤マークが見えたらそれ以上引き出さないでください。

⑥パワースイッチを入れます。

パワースイッチを「ON」にするとランプが点灯します。

※この状態で冷却ファンが回り始めます。

※点灯中は振動などのショックを与えないでください。ランプ切れの原因となります。

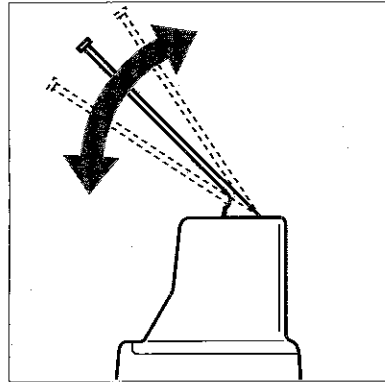


映写のしかた

①映写画面の位置調節

スクリーンの高さに合わせて、映写ミラーの傾きを調節します。

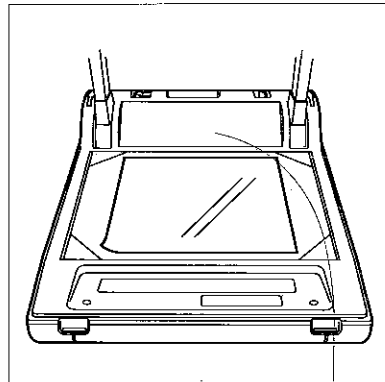
※映写ミラーに指が触れないようにご注意ください。指が触れると映写ミラーが汚れ、映写画面の鮮明さが失われます。



②原稿のセット

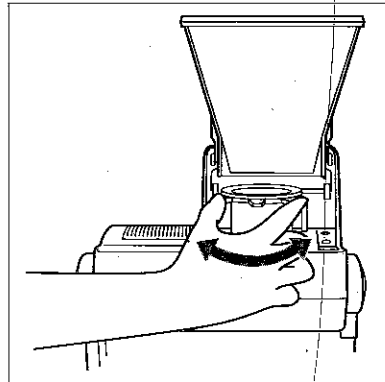
ステージの上に原稿をセットします。

※原稿が浮き上がっていると映写される画像は二重像になります。



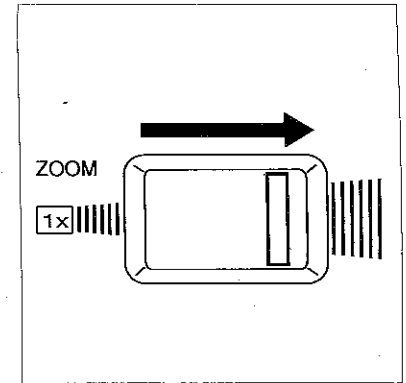
③ピント調節

鮮明な画面が得られるようにピント調節ツマミを回して調節します。



④部分拡大映写

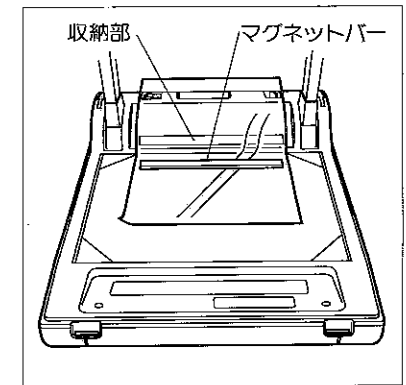
原稿の一部を大きく映写したいときはズームスイッチを矢印方向へ動かします。部分拡大率は連続的に変えられます。



⑤原稿を縦に移動させる

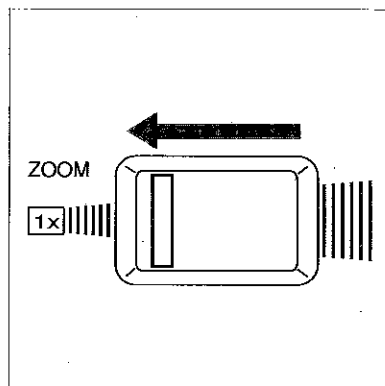
映写画像を上に移動したいときは原稿を傾斜面に沿って移動させ、マグネットバーを使用しステージ上で原稿の浮きをおさえます。

使用後は収納部（傾斜面の金属部）で保持してください。

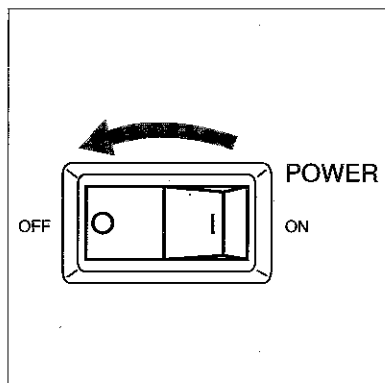


収納のしかた

①レンズを標準状態へもどします。部分拡大映写状態にある場合はズームスイッチを矢印方向に動かし標準状態にもどします。



②パワースイッチを“OFF”にします。
※部分拡大映写状態のままパワースイッチを“OFF”にしても、映写レンズは自動的に標準状態にもどります。途中で電源プラグを抜くとレンズは標準状態にはもどりません。パワースイッチが“ON”の状態では電源プラグを抜かないでください。



※映写レンズが標準状態（レンズが上にある）にもどるときファンは一時的にとまりますが故障ではありません。標準状態にもどるとファンはふたたび回り出します。

③ランプの冷却

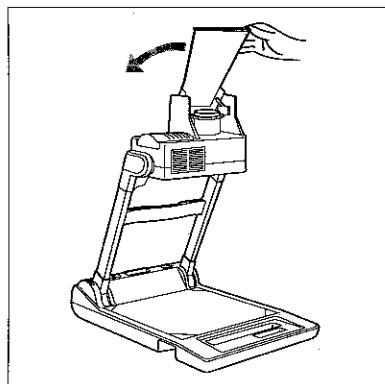
冷却ファンが止まるまで、電源プラグをコンセントにつないだままにしておいてください。冷却ファンはしばらくすると自動的に止まります。

※ランプハウスを十分に冷却しないでヘッドを収納すると、ヘッド部分などが変形することがあります。

④映写ミラーを起こします。

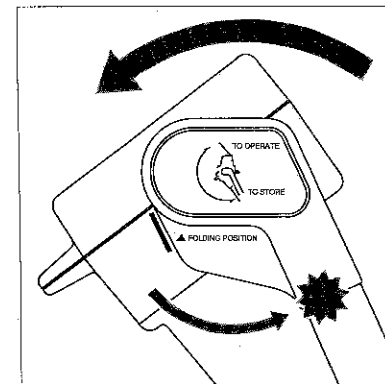
映写ミラーを図のように起こします。

※映写ミラーに指が触れないようにご注意ください。指が触れると映写ミラーが汚れ、映写画面の鮮明さが失われます。



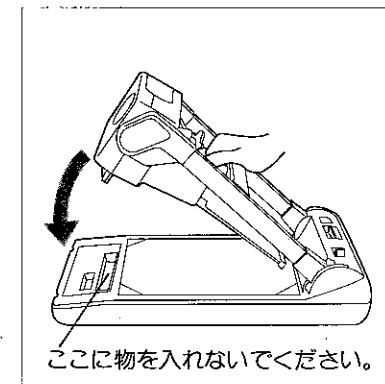
⑤ヘッドを折りたたみます。

ヘッド回転用ツマミをもち「TO STORE」方向に回し、ヘッド収納ラインが◀位置(FOLDING POSITION)で確実にロックするまで押しつけてください。
※ヘッドを折りたたむとき、映写レンズが標準状態にあることを必ず確認してください。



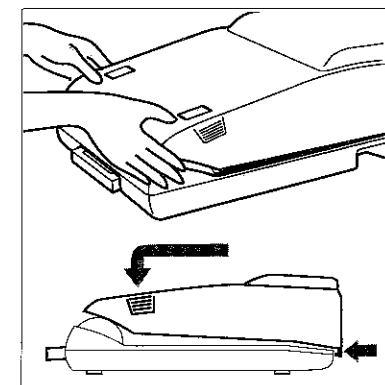
⑥アームを折りたたみます。

ヘッドがロックされるとアームのロックが自動的に解除され、アームが折りたためるようになります。アームハンドルを持ち矢印方向へゆっくりと折りたたみます。カチッとロックされるまで押しつけます。
※ステージ上にマーカなどを置いたまま折りたたまないでください。



⑦電源コードの収納

電源プラグをコンセントからはずし、電源コードを軽く引いてからゆっくりともどしてゆくと自動的に巻き込まれます。

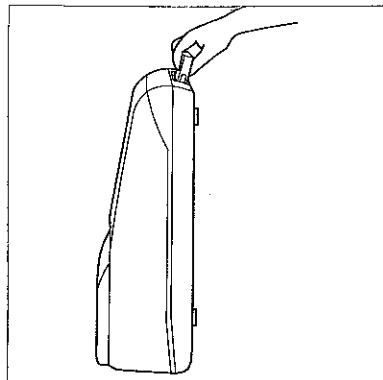


⑧ケースを閉じます。

本体前部のキャリングケースフック取付部にキャリングケースフックを差し込んでから、ケースの両端を押え本体へセットします。

◎持ち運びと保管

持ち運び用ハンドルを引き出して持ち運んでください。



取扱い上のご注意

〈安全にご利用いただくために〉

- ①お子様が使用するときには、そばで注意を与えてください。
- ②ランプガードの近くに、紙・布などの燃えやすいものを近づけると発火のおそれがあり、又、手などを近づけるとやけどのおそれがありますので十分にご注意ください。
- ③ランプ交換は、冷却ファン停止後10分以上経過し、ランプが十分に冷えたことを確認してから行なってください。
投影中や投影直後のランプおよび保護ガラスは高温になっていますので、やけどをするおそれがあります。手を触れないようご注意ください。
- ④延長コードをご使用になる場合は、電流容量が5A以上のコードを利用してください。
- ⑤ヘッドの開口部はランプを冷却するために必要です。開口部をふさがないでください。
- ⑥点灯中のランプを直視しないでください。
- ⑦ステージは傷つきやすいので、堅い物でこすったり、物を落としたりしないでください。
- ⑧使用后、電源スイッチを切っても本体が冷えるまで冷却ファンが回転し続けます。冷却ファンが停止し、本体が冷えたことを確認してから電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ⑨使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。なお抜くときはコードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。保管中はコードを巻き込んでおいてください。
- ⑩収納するときはランプが冷えていることを確認してください。
- ⑪本体を落下させた時、破損が見られる場合などは、使用しないでください。また、その際は、自分で修理せず必ず弊社または販売店へご相談ください。
- ⑫コードを無理に曲げたり、高温の場所に触れないようご注意ください。なお傷みが見られるコードは使用しないでください。
- ⑬感電事故の原因となりますので、濡れた状態で使用したり、濡れたテーブルの上で使用しないでください。

ランプの交換方法

ランプのはずし方

①ランプハウスカバーを開きます。

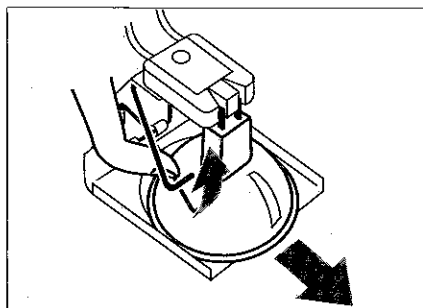
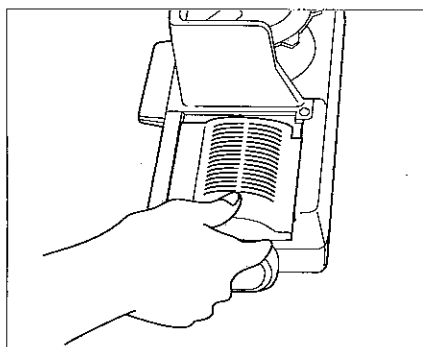
ご注意

i)ランプの交換は、電源を“OFF”にし冷却ファン停止後10分以上経過し、ランプが充分冷えたことを確認してから行ってください。

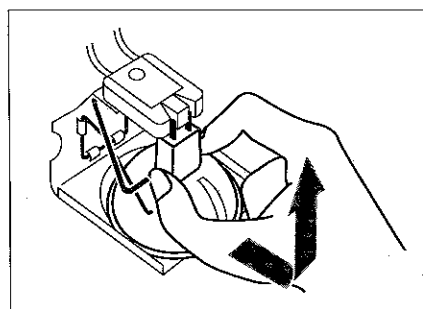
ii)電源プラグをコンセントから抜いて、ランプを交換してください。

iii)必ず専用ランプをご利用ください。JCR100V 300W/C5

②ランプ取りはずしレバーを上にとランプがソケットからはずれません。



③ランプの根元を持ち、静かに引き抜きます。



ランプのとりつけ方

①スペアランプを準備します。

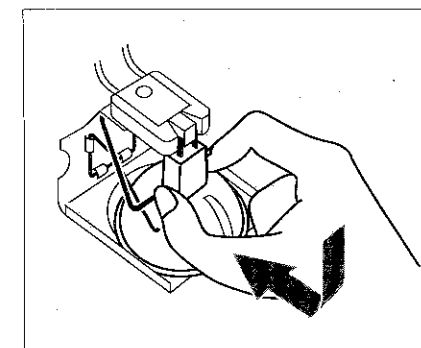
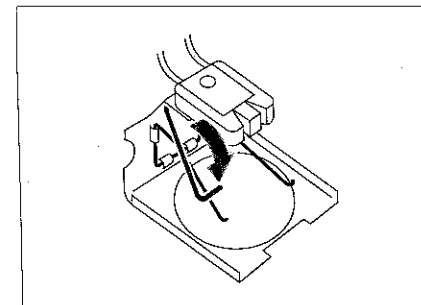
②ランプの取りはずしレバーを矢印方向に倒し、元の位置まで戻します。

③ランプの根元を持ち、ランプが下図の位置に来るまで、確実に差し込みます。

④中途半端なランプの取付は危険ですので最後までしっかり差し込みます。

⑤ランプハウスカバーを確実に閉めます。

カバーが確実に閉まっていないとランプは点灯しません。

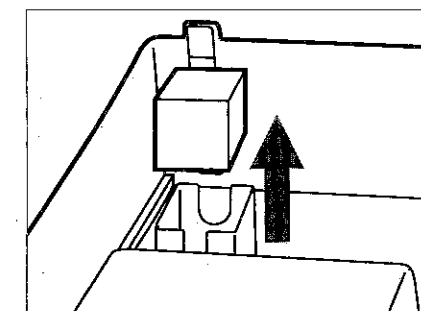
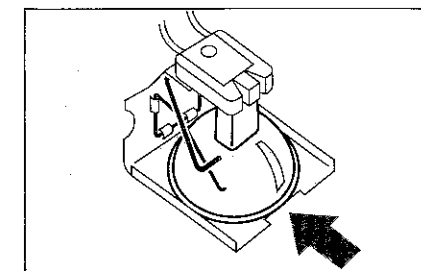


スペアランプの取りはずし

スペアランプはキャリングケースのウラ側から矢印方向へ引き抜き取り出します。

ランプのガラス管表面や、反射ミラーの内面に手を触れないでください。ランプ切れや照度低下および画面むらの原因になります。万がいち指が触れた場合には、やわらかい布やシリコンクロスでふきとってください。

スペアランプホルダーにスペアランプを入れておくといざというとき便利です。ランプは箱に入れたままキャリングケースのスペアランプホルダーに収納してください。



簡単な故障の点検

〈修理を依頼される前に〉

状態	ご確認ください
スイッチを入れてもランプが点灯しない。または冷却ファンが回転しない	電源ブレーカーがとんでいませんか？
	電源コードがコンセントに差し込まれていますか？
	ランプハウスカバーは確実に閉まっていますか？
	ヘッドが定位置まで起きていますか？
	ランプがソケットに正しくセットされていますか？
	ランプが切れていませんか？ 切れているときは新しいものと交換してください。
投影された画像がぼやける。	ピント調節をしましたか？ ピント調節ツマミを回し、ピントを合わせてください。
	映写レンズ、映写ミラー、ステージが汚れていませんか？
	資料が浮き上がっていませんか？ 浮き上がっている原稿を、ステージに密着させてください。
投影画面全体（または一部分）が暗い。	指定のランプをお使いですか？ ランプはJCR100V 300W/C5をご使用ください。
映写レンズが標準状態にもどらない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？ 電源プラグをコンセントに差し込み、ズームスイッチを標準状態側へ倒すか又は/パワースイッチを“OFF”にしてください。

状態	ご確認ください
投影中にランプが不点灯となる	ランプが切れていませんか？ 切れているときは新しいものと交換してください。
	クーリングファンにホコリが付いていませんか？ クーリングファンを清掃してください。(P17 お手入れ・保管方法参照)

以上の処置を行っても直らない場合は、当社または販売店までご連絡ください。

仕様

電源	100V 50/60Hz	使用時条件	温度：5～35℃
消費電力	320W		湿度：30～85%（ただし無結露状態）
光源	100V 300W ハロゲンランプ	電源コード	5m
ランプ寿命	平均35時間（定格）	ステージ	フレネルミラー（ハードコーティング処理）
映写レンズ	f=229～320（可変焦点式） 9枚構成	ステージ寸法	285×285mm（A4縦横可）
部分拡大装置	電動ズーム方式 標準～1.6倍	外形寸法	折りたたみ時： W330×D525×H180
映写倍率	4.1～8.2倍 （映写距離 1.6～3.4m）	使用時	W330×D517×H700
投影仰角	最大15°	重量	約11kg（キャリングケース含む）
冷却方式	ファンによる強制空冷	その他	消耗品：ハロゲンランプ オプション：レーザーポインタ
安全装置	過昇温保護用サーモスタット ランプ点灯OFF用インターロックスイッチ 2ヶ （ヘッド収納時/ランプハウスカバー開放時）		▽94-6258

※製品の仕様、性能は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

アフターサービス

お手持ちの製品が故障した場合は、次の要領で修理させていただきます。お近くの当社営業所・販売会社、取扱い店にお申し出ください。なお、保証内容、使い方など不明の点につきましても、別掲のお近くの当社営業所・販売会社や取扱い店をご利用ください。

●無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、販売店名の記入された保証書（ご購入日より6ヶ月以内）が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

※詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また、運賃諸掛りは、お客様にご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
3. 当社または取扱い店以外で分解、改造されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱い上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、機内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、樟腦の入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
6. 上記以外で当社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および、部品の手当てが困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの当社営業所・販売会社、または取扱い店にお問い合わせください。

●修理部品の保有期間

「プラス オーバーヘッドプロジェクタ」の補修用部品は、製造中止後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則としてお引受けいたします。なお、部品保有期間終了後でも、修理できる場合もありますので、詳しくはお近くの当社営業所・販売会社、または取扱い店にお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
3. 修理箇所のご指定がないとき、当社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなる場合があります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手もとに保管してください。
5. 修理の場合は、購入時の外箱か同等の箱に入れてしっかり包装してください。


お手入れ・保管方法


- ①ステージ面・投影レンズ・映写ミラーの汚れは、柔らかい布やシリコンクロスなどで拭き取ってください。
- ②汚れがひどい場合には柔らかい布に中性洗剤をひたし、軽く拭いてください。
- ③クーリングファンにホコリが付きますと冷却能力が落ち温度プロテクタが働きランプ不点灯となります。付属の綿棒により定期的にクリーニングをしてください。

注意

- ①シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- ②強くこするとレンズに擦り傷がつき、画質が低下する原因となります。
- ③クーリングファンを清掃する時は、必ずコンセントを抜いてクーリングファンの停止を確認してからファンカバーを外してください。
ファンカバーを取り外した状態では、絶対にご使用しないでください。

記号の説明

 “注意を促す” という意味です。

 “取扱説明書を参照” という意味です。

※IEC・ISOに準じた表示法です。